

令和7年度 第1回学校運営協議会・学校関係者評価委員会【報告】

令和7年4月18日（木）、本校において令和7年度第1回学校運営協議会・学校関係者評価委員会を開催しました。今年度は新入生がいないという状況の中、地域・保護者・教職員が一堂に会し、今後の教育活動や地域連携についての議論を交わしました。

【開会挨拶・自己紹介】

校長より、今年度は新入生がいない状況の報告がありました。児童数の確保は学校にとって大きな課題であり、地域全体で学校を支えていく必要があるという認識を共有しました。また、今年度の委員の自己紹介、会長・副会長の選出を行いました。

【学校経営方針・重点目標の説明】

校長より、本年度のグランドデザインについて説明がありました。重点目標として3点を示し、特に全校音楽発表会は節目の年であり、児童数が減少しても地域とともに思いのこもった発表会を目指す意気込みが語られました。

【子ども主体の取り組みと組織目標】

「自ら考え、行動し、決める場面を多く設定する」という組織目標のもと、昨年度の運動会では児童のアイデアによる新種目が導入されるなど、主体性を重視した実践の紹介がありました。これが子どもたちの心に残るよい経験となったことから、本年度も継続的して取り組む方針を示しました。

【学校評価と情報発信の課題】

令和6年度の学校評価結果をもとに、今年度の課題や改善点を共有しました。特に、学校だよりの発信方法について、地域で十分に読まれていない指摘を受け、より多様な手段による情報提供が必要であるとの意見がありました。また、学校運営協議会での意見も地域に共有されるべきとの提案もあり、今後の発信体制の見直しを図ってまいります。

【行事予定と地域連携】

本年度の学校行事として、5月の運動会・三世代交流会、7月の宿泊学習、11月の全校音楽発表会などが挙げられました。宿泊学習は、水戸市のJA茨城教育センターを初めて活用する予定で、施設側と調整しながら新たな教育機会の創出に取り組んでいます。2・3年生も含めた全校参加型の計画となっており、小規模校ならではの柔軟な取組を行っていきます。

今後も学校・家庭・地域が連携し、子どもたちの学びを支える環境づくりを推進してまいります。

